



第20号
星の郷

発行日 平成23年12月1日

発行 社会福祉法人富士宮福祉会
特別養護老人ホーム星の郷
〒418-0035 富士宮市星山字向原1058
TEL0544-23-3302 FAX0544-24-9564
ホームページ
<http://www.hoshi-no-sato.co.jp>



わんわんサーカス

(犬とのふれあい)

11/7(月)



AB ユニット 湧玉 宝永

『故郷を訪ねて』

秋の穏やかな日、九十八歳になられたM様がご家族の道案内で十年ぶりに故郷の芝川を訪ねました。

ご自宅ではこの日に合わせてM様の三人のお子様（長男、長女、次男）が集まり、迎えてくれました。到着後、さっそく

ご長男様が押す車椅子に乗り、毎日犬の散歩で馴れ親しんだ柵田やご先祖のお墓を巡りました。その後、ご自宅の居間へ上がりご家族皆様でくつろいでいただきました。

ご長男様より「これ、覚えているかな？」と尺八を演奏して聞かせたり、ご家族様の介助で飲食を楽しまれてる中、M様の人柄や思い出を聞きました。

庭での野菜作りの管理や家の中の整理整頓がきちんとでき、存在感があった婦人会での活躍、お嫁様の作った食事は全ておいしいと食べてくれた事など又しつけは厳しかったが、子供が芝川を離れる時、何も言わずに姿が見えなくなるまで一人で見送ってくれた事など、貴重な話でした。

ご家族の皆様も喜んでいただき、職員も施設ではわからなかったM様のすばらしい人柄を知り得た外出でした。

今後このような外出を計画したいと思っております。



CD ユニット 貴船 木ノ花

星の郷から車で数分の所に鳴沢の滝ホタルの里というホタル観賞スポットがあります。六月二十日、CDフロアでは昨年好評だったホタル観賞会に今年も出掛けました。

当日は今にも雨が降り出しそうな天気でしたが、夕ごはんを食べて暗くなるのを待ち、思い切って出発しました。現地に着き、滝を流れる水音が爽快に響く中、椅子を並べて暗闇に目をこらすと・・・



あちらこちらに、ひそやかに舞うホタルの小さな光が見えます。「あっ、あそこに飛んでる!」「こっち来い!」夢中になって声をあげ、暗闇を舞うホタルを目で追う入所者様美しく幻想的な光景に皆様とても穏やかな表情を浮かべていました。ホタルにまつわる昔の思い出話をされたり、「いい冥土のみやげになったよ」と冗談を言って笑われたり、「こんな良い思いをさせてもらって嬉しい」等とおっしゃって下さいました。雨がポツポツ落ちてきたので早目に帰りましたが、後々の日まで覚えていて、「ホタルきれいだったよ」と話される方もいらっしゃいました。一年のうちでホタルが見られるわずかな期間、私達職員も入所者様の感動に立ち会うことができていることに嬉しく思いました。



そして迎えた夏。短冊への一筆に願いを込めた七月の七夕まつりに大きく夜空に咲いた花火に見上げる入所者様の顔も赤く染まった八月の花火大会。若い職員たちが練習を重ね、踊りと劇で盛り上がった九月の敬老会。今年も盛大に行われた十月の秋祭り。気付けば今年もあつという間。私達職員はいろいろな場面で入所者様から笑顔と勇気をもらっています。これからも一日一入所者様に素敵な時間を過ごしてもらえよう、全員で力を合わせていきたいと思っています。

養

EF 富士 浅間 ユニット

フロアに帰っても「楽しかったね」「犬や猫が可愛かったよ」「広くて迷子になりそうだった」と皆様笑顔が絶えませんでした。

これからも色んな企画を立て入所者様に喜んで頂けるように創意工夫していきます。

l・c・a・n・d・o・i・t・



皆様口々に「私は座布団を買っよ」「私は色々見て決めるよ」「服も欲しいね」と楽しみは車内に収まらない程に膨らんでいきました。



EFフロアでは夏の名残りが秋を呼び言葉を見つけれずいた九月十四日に富士宮イオンへ買い物ツアーへ出掛けました。入所者様が望まれ楽しみにされていた外出は私達職員にとってもとても楽しい瞬間でもあります。

渴望が車を埋めていき願望と期待が共に盛り上がり、

「きれいだね」と皆様声を上げて嬉しそうな表情で店内を見渡していました。目的が現実が変わります。ここからが願望を具現化する始まりの時です。

早速目当ての品を選びに行く方、長椅子で一休みする方、食堂を探す方、思い思いに過ごして頂きました。

買い物有一段落すると、皆様お待ちかねの昼食です。2階フードコートへ移動し、それぞれ食べる物を決めました。圧倒的に麺人気が高く、ラーメン、焼そばを選ばれ召し上がりました。「美味しいよ、やっぱりラーメンが一番だよ」「今度はうどんにするよ」「甘い物も食べたいよ」と次の外出を期待する声も上がっていました。



特

GH 朝霧 白糸 ユニット

今回は秋を感じていたたく為にさつまいもを使ったおやつレクを行いました。今後は秋を感じていただく為にさつまいもを使ったおやつレクを行いました。今後は秋を感じていただく為にさつまいもを使ったおやつレクを行いました。



「やさしほり!!」としりとりも終わりました。こしたさつまいもはラップで包み、入所者様にしほっていたできました。皆様とても丁寧に行って下さいました。ラップを開くと甘い匂いがして、お茶と共にペロリと召し上がられました。入所者様からは「おいしかった。」「甘いね。」「笑顔で答えてくださいました。おかわりされた方もいて、ビックリしましたが、入所者様の笑顔をみることで、職員も嬉しかったです。」



「茶巾しほり」
GHフロアでは、十月二十六日(水)におやつレクを行いました。

今回は秋ということ、さつまいもを使い「茶巾しほり」作りを行いました。職員がやわらかくなったさつまいもをこす作業をしている間、HFフロアでは頭をつかた『しりとり』をし、楽しみました。職員の作業が終わる頃、「…マッチ。」「ち

星の郷

デイサービス

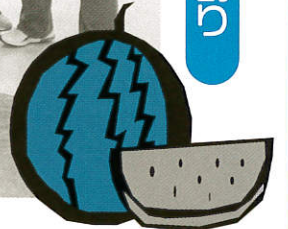
七月 七夕



七月は七夕
月間と称して、
七夕飾り・短
冊作りをはじめ、様々な催しを行な
いました。十三日はボランディアの
皆様に踊りを披露して頂きました。
銭太鼓、日本舞踊と見せて頂き、最
後のフラダンスでは、手ぶりを真似
て一緒に踊りを楽しみました。十九
日は皆さんで協力して、フルーツパ
イを作りました。男性利用者様も慣
れない作業に苦笑されながらも、真
剣に作業されていました。



八月 スイカ割り



暑さが続く八月。デイサービスで
は八月の行事スイカ割りが行われま
した。「右、右。」「左。」「あつ真つ
すべ。」「よし、いいよ。」「利用者様
達が目を輝かせ声援される中、両手
で力強く握った棒が振り下ろされま
す。「バシッ」見事に割れたスイカ
に「ファー」という歓声と拍手の渦
目隠しの手拭いを外された利用者の
誇らし気な顔がとても印象的でした。
その後、皆さんで割ったスイカはい
つも以上に甘くておいしいと口々に
話されながら笑顔で召し上がられて
いました。

九月 敬老会

九月に敬老会の余興として、職員
が二人羽織りを行い「おでんを食べ
る姿」を応援して下さいたり、大き
な声で笑われたりしました。また写
真付きのメッセージカードを、お渡
しますと、泣いて喜んで下さり、
利用者さんと一緒に作ったお花を渡
しますと「きれいだね」、「嬉しい
よ」と言ってもらいました。おやつ
レクでは、男性がたこやきを率先し
て焼いて下さったり、おこのみ焼き
では、女性が、キャベツを細かく切
って下さったり、お皿に
取り分けて下さいました。



十月 秋祭り



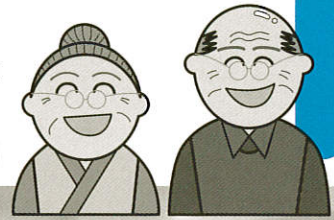
今年、
初めてデ
イサービ
スで秋祭
りを開催
しました。
「何が出
来るの」
と言いな
がら作っ
た輪なげ

や射的に手をたたいて喜ばれました。
「アハハ」と笑う方、法被姿を気に
入り「写真撮って」と言う方あり。
皆さん童心に戻って楽しめました。
又、手作りの神輿を担いだご利用者
様が回ると「ワッショイ」の掛声が
上がり、炭坑節も皆で踊り、職員の
余興に笑顔があふれました。おやつ
レクでは、鈴力ステラ作りを男性利
用者も「家ではやらない」と言いな
がらも、混
ぜたり、丸
めたりして
出来上がり
を「おいし
いよ」と喜
ばれました。

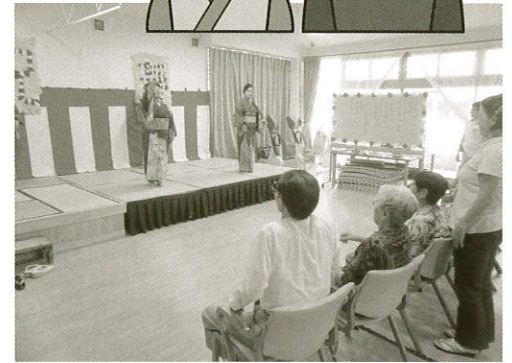


敬老会

デイサービスいちばん星では、敬老会としてボランテニアによる



催しを開始しました。舞台



してお渡ししました。皆さまにとても喜んでいただけ「絶対飾るよ！」など喜びの声が多く聞かれました。普段と違う利用者様のちよつと興奮した表情や喜びの表情が垣間見え、楽しいひと時を過ごしました。

デイサービスセンター いちばん星

拍子を打ってリズムを取ったり、歌に合わせた振り付けをみんなで行うことで、大変盛り上がりました。また、敬老のお祝いということで、以前より創作活動の一環として制作していたフォトフレームに夏祭りの際、撮影した浴衣や甚平姿の写真を入れて利用者様一人一人にプレゼントと

運動会

十月二十一日にスポーツの秋にちなんで「第二回いちばん星大運動会」を開催しました。運動会に向けて万国旗やスタート・ゴールのプレートを手作りし準備をしてみました。飾った翌日からは「きれいにできてるね」「あれは私が塗った国旗よ」など、達成感を感じてる声も聞かれました。運動会当日、赤・白の二チームに分かれて団体競技



から個人競技まで真剣勝負！玉入れでは、日頃から体操の一環として取り入れ練習に励んできた甲斐があり、みんな力ゴをめがけて次々と玉を入れていきます。個人競技のパン食い競争では、いつもと違う軽い足取りでパンまで一直線！どちらのパンを取ろうか悩む姿もありました。すべての競技が終わり、一点差で勝負が決まりましたが、利用者様は互いを讃えみんなで万歳三唱をして終わりました。みんなで軽く汗をかいた後は「童心に還ったみたいで楽しかった」との声も聞かれ、職員共々充実した一日が過ごせたと実感しました。

フットマッサージ

「あんた昼休みに悪いじゃん！足を揉んでくれるなんて、申し訳ないよ」「面倒くさいからいいよ」等、初めはこんな感じで、利用者のみなさん、半信半疑・乗り気でなかったフットマッサージでした。取り組んで三ヶ月の今では、自ら「頼めるかね？」と注文されるようになり、信頼を得、定着してきた手応えを感じています。

昼食後のひと時、事業所一番の売り“足湯”に浸かり足を温めた後、



ベビーオイルを使い、足裏からマッサージしていきます。足裏には全ての内臓のツボ

があるといわれていますね。本当に面白いです。疾患を抱えている内臓のツボを親指でグッと押すと、目じりのあたりが、ピクピク動きます。イタ気持ちいと表現するのでしょうか。向こうずね・ふくらはぎの筋肉を両手でオイルを擦りこむ様にマッサージしていると、しだいに利用者さんの方から、昔の事・家族の事・今不安に思っている事等話してくれます。これが本当の“スキンシップ”なんだと、つくづく感じます。机の上で、色々問いかけても、空を見たまま何も答えてくれないのに、こうして無心に触れていると、向こうから心を開いてくれます。私達の方がかえって教えてもらう事が多く、本当に楽しい一時になっています。



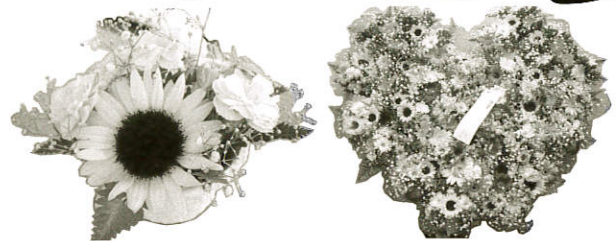
理事長挨拶



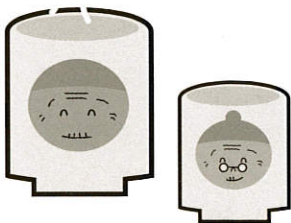
市長挨拶



市長より白寿のお祝い品のお贈呈



安田Dr.より入所者様へお祝い品として頂いたお花です



30才代より余興(AKBのヘビーローテーション)



20才代より余興(十二支の話)



米寿のお祝い理事長から代表者へ

開所10周年式典表彰



永年勤続表彰者

10年勤続

- 1 村松 真孝
- 2 土井 正孝
- 3 小野寺 健
- 4 安部川陽子
- 5 竹内世津子
- 6 齊藤 照美
- 7 浦田 愛子
- 8 中野 恵未
- 9 磯野 仁美
- 10 竹川衣美子
- 11 野村 園子
- 12 小松 美代
- 13 大石さかえ
- 14 岩佐 洋子
- 15 井川ユキ子
- 16 深澤 政廣
- 17 小野田みつ子
- 18 長谷川章子

9年勤続

- 1 仲神 佳男
- 2 渡邊 真弓
- 3 鈴木 利江
- 4 渡井 豊子

8年勤続

- 1 大平由理子
- 2 山本 敦子
- 3 鈴木 健哲
- 4 渡辺 哲也
- 5 箕輪しのぶ
- 6 古谷 正子
- 7 尼ヶ崎健司
- 8 村松美由紀
- 9 長野 仁巳
- 10 飯田 秀子
- 11 西ヶ谷秀与
- 12 荻 純一郎

感謝状贈呈

- 事業協力者感謝状・記念品・贈呈
- 鈴木 幸男様
 - 安田 善典様
 - 佐藤 和弘様
 - 望月 愛次様
 - 村松 町子様
 - 飯塚 崇志様
 - 佐野 和彦様
 - 富士宮理容組合様
 - プラチナ会様

秋祭り

本年度の秋祭りは施設開設十年の節目のものとなり、特に当日は午前中に開設十周年のイベント行われ、忙しい中での開催となった。祭りそのものは、幸い事故等トラブルもなく無事に終わり、この事に対しては秋祭り実行委員並びに関係した方々に対して厚く御礼申し上げたい。



さて、毎年行われるお祭りではあるが、その都度私なりに気付かされる事がある。特に近年つくづく感じるのが、入所者様の子供を追う

視線が微笑ましく、何か語りかけた気で随分気になるように感じる。一昨年からリリーチエール幼稚園の鼓笛隊の演奏が行われるようになったから、来客の子供の占有率が飛躍的に高まり賑わうようになった。



今年スタンプラリーが行われたが、子供が喜ぶような演出でもあったため、お祭り会場は多くの子供が行き交う場所ともなった。その雰囲気が入所されている方々に喜んで頂けたのではないだろう



か。翻ってみれば著者が年少だった頃は子供が多く、どこにでもいた。危険な事をすれば年配者に怒られた。それが当たり前であった。現在は子供そのものが少なく、外で遊ぶ事も少ない。まして施設に入所すれば、子供に出会う機会もなくなる。入所者様も子供も見て嬉しく懐かしくなるのも当然であろう。そもそも入所者様の若い頃の日本は大家族が当たり前であり、ご兄弟も多かった。ご家族ご年長者を中心として協力し合って生きてきた。その中の役割の一つとして、祖父母が両親

の代わりに孫の面倒をみて寝た事もあったであろう。人とは介護を要する身となっても、子供を見れば慈しみを感じ、世話をしたい気持ちがある。これが本能的に備わっているようだ。この関わりにより社会との絆を保つことができる。今は高齢者専門の施設ではあるが、子供（特に幼



い）が一緒にいる空間が実現できれば、入所者様の生き方も変わるのかな。



実行委員長



この関わりにより社会との絆を保つことができる。今は高齢者専門の施設ではあるが、子供（特に幼





医務室から

冬の感染症対策について

医務室から冬の時期流行する2大感染症「インフルエンザ」「ノロウイルス」についてお話しします。

インフルエンザ

インフルエンザは流行性疾患であり、いったん流行が始まると短期間に多くの人への感染が広がります。症状は38度以上の発熱、頭痛、関節痛などの全身の症状が突然現れます。併せて普通の風邪と同じように、のどの痛み、鼻水、咳などの症状も見られます。ご高齢の方や免疫力の低下している方では肺炎等重症になることがあります。

インフルエンザを予防する方法

- 一、流行前のワクチン接種
- 二、外出後の手洗い、うがい
- 三、適度な湿度の保持（湿度50～60%）
- 四、十分な休養とバランスのとれた栄養摂取
- 五、人混みや繁華街への外出を控える

やむを得ず外出をして人混みに入る可能性がある場合にはマスクを着用しましょう。

ノロウイルス

冬の時期、高齢者がノロウイルスにかかって病気になるという記事を見たことがある方も多いと思います。ノロウイルスは感染が家庭や施設内の人から人へと広がります。その伝播力（感染する力）もきわめて強いことから施設内での集団発生の事例が多く報告されています。

原因はカキや二枚貝などノロウイルスに汚染された飲料水や食物を飲食することです。カキや二枚貝は中心温度85度一分間以上の加熱が必要です。症状は嘔吐、下痢、腹痛、風邪に似た症状もあります。嘔吐物や排泄物には大量のノロウイルスが含まれているので、それらの処理をしっかりと行い二次感染を防止することが重要です。消毒には必ず次亜塩素酸（家庭用塩素系漂白剤）を使用します。

インフルエンザ、ノロウイルス、どちらも手洗いがとても重要です。体調をしっかりと整え元気に冬を過ごしましょう。

編集後記

11月に入り寒くなってきたな～と思ったら、また、暖かくなってきたりと、おかしな天気が続いております。この時期から、星の郷でも感染症対策として、スタッフ一同マスクの着用と手指消毒を行っております。星の郷にこられる皆様にもお願いしておりますのでご協力宜しくお願い致します。

また、大きな行事も目白押しですので、是非、ご家族様にも足を運んで頂き、一緒に楽しんで頂けたらと思っております。

編集スタッフ一同



平成22年度 社会福祉法人 富士宮福祉会 決算報告 貸借対照表

平成23年3月31日現在

(単位：千円)

■資産の部		■負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	173,272	流動負債	13,591
現金預金	91,458	未払金	12,359
未収金	77,403	預り金	1,232
その他	4,411	固定負債	210,609
		設備資金借入金	206,140
		退職給与引当金	4,469
		負債合計	224,200
固定資産	1,155,592		
基本財産	1,067,985		
その他固定資産	87,607		
建物	48,565		
構築物	1,072		
機械及び装置	8,817		
車両運搬具	482		
器具及び備品	14,167		
その他積立金	10,035		
その他固定資産	4,469		
資産合計	1,328,864		
		■純資産の部	
		科 目	金 額
		基本金	261,333
		国庫補助金等特別積立金	622,985
		その他の積立金	10,035
		次期繰越活動収支差額	210,311
		(うち当期活動収支差額)	(-16,082)
		純資産合計	1,104,664
		負債・純資産合計	1,328,864

脚注

1. 減価償却の累計額 470,958千円
2. 徴収不能配当金の額 0千円